

9月といっても日中はまだまだ暑い日が続いていますが、朝夕が少しずつ過ごしやすくなってきていますね。空の色や虫の声など、秋の訪れを感じながら、季節の変化を楽しんでいきたいものです。

お知らせ・お願い



◎午睡について

年少と年中のお子様は、在籍園での午睡の有無にかかわらず、原則として午睡時間を設けています。

年長児については、在籍園の生活の流れをなるべく崩さないように園の午睡の有無をお聞きしながら、socioでの午睡を終了するタイミングを決めています。すでに午睡をしていないお子さんもいますが、園によってなくなる時期が違いますので、園での午睡がなくなる時にはスタッフにお知らせください。

◎電話によるご相談について

お子様の発達や日々の生活についてのご相談を電話でお受けすることがありますが、15時まではスタッフが療育に入っているため、お急ぎのご用件でない場合は、なるべく15時以降の時間で調整していただくと助かります。

また、長時間のご相談については、直接お越しいただくか、土曜療育相談をご利用ください。施設の電話回線が1回線ため、「話し中で連絡がつかなかった」とお困りの声をいただくことがあります。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、緊急連絡等が入る場合もありますので、ご協力のほど、お願いいたします。

◎土曜育児相談について

10月26日の午前中(①9時~②10時~③11時~)に行います。

- ・平日にお子様の様子を聞きに来るのが難しい方は、土曜育児相談の枠をご利用ください。
- ・集団の場では、話にくいことや個別に詳しく話したいことなどがある場合もご利用いただけます。

◎スタッフ紹介

この度、wakabaに新しいスタッフが配属になりました。
保育士の中山瑞枝です。皆様、よろしくお願ひいたします。



子ども達の自立と健やかな育ちを願って～できることから～

『自分の荷物を持つ・自分で歩く』

- ・持てない程の重たい荷物まで無理に持たせることはありませんが、自分で持つことができるものまで、大人が持って登降園していませんか？
- ・年少児以上のお子様には、自分で荷物を持つように促していきましょう。全部は持てなくても1つは必ず持ちましょう。
- ・重い物や持ちにくい物は、「一緒に持って」「手伝って」と言えるといいですね。
- ・体調が悪くない時は、抱っこではなく歩いて登降園しましょう。



※1年生になったら、ランドセルや手さげカバンなどたくさんの荷物を自分で持って、歩いて登校します。荷物を持って歩くということを早くから習慣づけることは、小学校生活をスムーズに迎えることにもつながります。

『発達年齢相応の言葉を使う』

「わんわん」「まんま」などの幼児語はわかりやすさや言いやすさから、言葉の出始めた前後の時期(1～2歳頃)には適した言葉です。子どもが使うとかわいいので、いつまでも使いたくなるかもしれませんが、発達に合わせて「犬」「ご飯」と正しい名称に移行していきましょう。

年齢に応じた言葉を使うことが多い集団場面で、「ゴシゴシする(手を洗う)」「シーシーする(トイレに行く)」といつまでも言っていたら、周りの子に冷やかさせることもあるかもしれません。

また、大きくなったのに幼児語しか使っていないと言葉として使える名詞や動詞の数が少なくなってしまう場合もあります。(【例】「犬はどれ?」と言われると指させるが、犬を見ても「わんちゃん」と言ってしまう)

ご家族との会話の中で、耳から言葉を覚えていくことも多いので、成長に合わせた言葉を使っていくことが大切です。(言葉が出始めた時期や発音の明瞭さなど一人一人の発達の差と発達段階に応じて、幼児語が必要な場合もあります)

